

令和7年度さっぽろっ子「健やかな体」の育成プラン

子どもに育みたい3つの力

- ・運動・健康・安全に関する基礎的・基本的な知識及び技能
- ・学んだことを日常生活で活かす思考力、判断力、表現力等
- ・主体的に健康の保持増進を図る態度

「生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに積極的に心身の健康の保持増進を図る資質・能力」の育成

札幌市としての「体力」の押さえ

「健やかな体」の基礎となる体力は、生涯にわたる健康維持のほか、気力を充実し、知性を高めていく基盤となるものであり、これからの変化の激しい社会を生き抜いていくために、極めて重要なものである。

【現状】

- 体力・運動能力 (R6全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実地調査より)
 - 体力合計点について、小学校男子は3年連続、中学校男子・女子は2年連続で向上している。中学校男子においては、新型コロナウイルス感染症蔓延前の水準に戻っている。
 - 「体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」について、中2女子においては25%と高い割合を示している。

- 運動・スポーツへの意識、運動習慣 (R6同調査 児童生徒アンケートより)
 - 「運動やスポーツが好き」「体育の授業は楽しい」の問いに対して、肯定的な回答を高い比率で維持できている。
 - 一方で、女子においては「運動が嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合がコロナ禍以前の状態には戻り切らず、横ばい、もしくは微増となっており、運動に否定的な層の中でも女子に対するアプローチを考えていく必要がある。

- その他 (R6同調査 児童生徒アンケート 学校アンケートより)
 - 「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒は、体力向上の目標を立てている割合が高い。
 - 「運動が嫌い」と思っている児童生徒は、「保健を学習して運動しよう」とする思いにつながっていない割合が高い。保健学習等を通じ、健康の保持増進の大切さを実感した時に、運動習慣へ関連付ける取組が必要である。

小中学校における「健やかな体」育成プログラムの作成・実施

① 体育・保健体育等の授業の充実

運動の楽しさに触れられる「課題探究的な学習」の推進

- 課題探究的な学習の推進
 - 運動の楽しさに触れられる課題探究的な学習の推進
 - 体育と保健を関連付けた取組の推進
- 体力向上に係る調査に基づいた取組の推進
 - 体力・運動能力の向上、運動習慣の形成、授業改善等に係る大学との調査研究の深化
 - 調査研究成果の普及、啓発
 - 外部講師の積極的活用
- 札幌らしいオリンピック・パラリンピック教育の推進
 - 札幌らしい特色ある学校教育の推進「雪」
 - ・冬季オリンピック大会を開催した札幌市の歴史との関わり
 - 「ふるさと札幌」を心にもつ学び
 - 人間尊重の教育
 - ・オリンピック・パラリンピックの理念に基づく「共生」との関わり

授業を通して実感した運動の楽しさ

② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

三間(仲間、時間、空間)の創出により運動機会の充実を図る取組
子どもによる運動機会を創出する取組の立案・実現

(1) 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組の充実

- 運動機会の充実を図る環境整備の推進
 - ※三間(仲間、時間、空間)の創出による取組を重点的に支援
- 体育・保健体育等の授業と授業以外の取組を関連付けた実践の推進
- 子どもの声を取組に反映
- さっぽろっ子「自治的な活動」との関連付け
- ウェルネスイベントへの参加促進など、運動する機会の提供を強化

重点

健康の保持増進の大切さを実感した時の運動習慣への関連付け

(2) 部活動の質的充実

- 活動時間や休養日の設定等、持続可能な体制の整備
- 「課題探究的な学習」の趣旨を踏まえた活動の充実
- 学校への支援体制の充実(部活動指導員等外部人材の活用、学校間連携方式の推進など)
- 指導者研修会の実施による顧問教諭及び外部人材の資質向上

③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

現代的な健康課題の解決に向けた健康教育(保健教育・安全教育・食に関する指導)の推進

- 課題探究的な学習の推進
 - 自他の健康及び生活と関連付けて考えられる課題探究的な学習の推進
 - 各教科・領域等の指導内容等を相互に関連付けた指導の推進
 - ・健康の保持増進に運動が果たす意義についての理解促進を図る取組
 - ・個別指導の充実
- 心身の健康の保持増進に係る専門性を有する人材の積極的な参画の推進
 - 養護教諭や栄養教諭・栄養士との連携・協力
 - 産婦人科医師・助産師の講師派遣事業の実施
 - 札幌らしいがん教育の推進「(公財)札幌がんセミナーによるDVD
 - ・教材等の利用」外部講師の効果的な活用(「がん教育における外部講師の派遣事業(保健福祉局)」との連携及び、活用促進)
- 生命(いのち)を大切にする学習、性に関する学習の推進
- 学校給食を活用した取組の推進
 - 地産地消や家庭と連携した取組の推進
 - フードリサイクルによる食と環境を結び付けた学習の充実

家庭・地域との連携・協働

「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図り、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの「健やかな体」の育成を継続して支えていく。
⇒札幌らしいコミュニティ・スクールの仕組みを活用し「小中一貫した教育」と連動させて、「さっぽろっ子自治的な活動」を窓口に子どもの声を反映させて取り組む。

運動の楽しさに触れられる場の創出

自己決定の場の創出

体育や保健の見方・考え方を働かせる場の創出

学びの見通しをもつ場の創出

「健やかな体」の育成における「本物の経験」

三間(仲間、時間、空間)の創出

「健康を保持増進するために」を考える場の創出

課題探究的な学習

自治的な活動

令和7年度さっぽろっ子「健やかな体」の育成プランを推進するために

教育委員会の取組

Point.1 学校への情報提供の充実



学校での教育活動に役立つ情報や市の事業等を紹介するとともに、各校の取組を交流する機会を設けることで、各校で作成する育成プログラムの充実を図る。

Point.2 関係部局との連携の充実



スポーツ局、保健福祉局、各スポーツ団体や（公財）札幌がんセミナー等と連携し、各学校で活用できる事業を構築し、学校の取組支援に努める。

Point.3 「学校安全」の充実



子どもが安全・安心に体育活動に取り組むことができるよう、事故の未然防止につながる取組の充実を図る。

各学校は「健やかな体」育成プログラムに基づく取組の充実を図る

各学校で活用できる教育委員会等の取組・事業

① 体育・保健体育等の授業の充実

運動の楽しさに触れられる「課題探究的な学習」の推進

教育課程編成の手引



課題探究的な学習の充実に向けたAARサイクルの授業展開例など

アスリート派遣



運動領域に応じたアスリートを学校の授業に派遣。

NEW

授業を通して実感した運動の楽しさ

オリパラ体験（スポーツ局）



車椅子バスケット等を実際に体験

オリンピックミュージアム（スポーツ局）



オリンピックやパラリンピックの歴史と感動を体感できる施設
募集校数：70校程度

オリパラ講話①（スポーツ局）



アスリートや指導者を招いての講演会

オリパラ講話②：オンライン活用（スポーツ局）



オリパラ選手とオンラインで学習

② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

さんま三問（仲間、時間、空間）の創出により運動機会の充実を図る取組
子どもによる運動機会を創出する取組の立案・実現

学校における運動機会の充実を図る環境整備推進事業



1校20万円の予算配置により、運動機会を充実させるための物品を購入する。「子どもの声を聴く」ことを大切に、子どもの「したい」という願いを実現する取組とする。

ウォーキングイベント（保健福祉局）



ウォーキングなどの取組に子ども向け企画を追加するほか、民間企業や大学との連携による新たな取組を実施することで、授業以外においても運動できる機会を増やしていく。

部活動の地域移行に係るモデル事業



将来にわたって子どもたちが継続的に多様なスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保・充実に向けて、地域の関係団体等と連携しながら、新たな活動環境の整備を目指す取組

③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

現代的な健康課題の解決に向けた健康教育（保健教育・安全教育・食に関する指導）の推進

産婦人科医・助産師等派遣事業



産婦人科医・助産師、がんの治療経験者を講師に招き、命や性に関する講話を聞く。

（公財）札幌がんセミナーによる健康づくりやる気基金インセンティブ・ファンド事業



1校5万円。備品購入や会場借用など使途は自由。子どもの声を基に、健康づくりをテーマとした取組を行う。

思春期ヘルスケア事業（保健福祉局）



保健師から性について学び、正しい知識を得るとともに、自分の体を大切にしようとする気持ちを涵養する。

性に関する指導の手引・食に関する指導の手引



学校の教育課程において、性に関する指導・食に関する指導を位置付ける際のポイントや実際の授業例などを掲載

健康の保持増進の大切さを実感した時の運動習慣への関連付け

家庭・地域との連携・協働



例）運動をしたいという子どもの願いを叶えるため、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域の方に協力いただくことで放課後活動の充実を図る。